

第三次千葉県環境基本計画 指標の進捗状況一覧

第1章 地球温暖化対策の推進

項目名	基準 (年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	目標 (年度)	備考
第1節 再生可能エネルギー等の活用							
1 再生可能エネルギー導入量	10,864TJ (2017年度)	13,507TJ	15,737TJ	16,448TJ	17,597TJ	21,500TJ (2028年度)	
2 発電設備導入量	2,267MW	2,859MW	3,135MW	3,288MW	3,511MW	4,000MW	
3 太陽光発電による再生可能エネルギー導入量	8,969TJ (2017年度)	11,409TJ	12,336TJ	12,985TJ	13,989TJ	15,000TJ (2028年度)	
4 発電設備導入量	2,138MW	2,720MW	2,941MW	3,096MW	3,317MW	3,600MW	
5 太陽光発電以外の再生可能エネルギー導入量	1,895TJ (2017年度)	2,098TJ	3,401TJ	3,463TJ	3,608TJ	6,500TJ (2028年度)	
6 発電設備導入量	129MW	139MW	194MW	193MW	194MW	400MW	
第2節 省エネルギーの促進							
7 家庭の世帯当たりエネルギー消費量※	34.8GJ/世帯 (2013年度)	31.8 GJ/世帯 (2016年度)	34.6 GJ/世帯 (2017年度)	29.4GJ/世帯 (2018年度)	29.0GJ/世帯 (2019年度)	15.7GJ/世帯 (2030年度)	
8 事務所・店舗等の延床面積1㎡当たりエネルギー消費量※	1.42GJ/㎡ (2013年度)	1.24GJ/㎡ (2016年度)	1.24GJ/㎡ (2017年度)	1.29GJ/㎡ (2018年度)	1.19GJ/㎡ (2019年度)	0.50GJ/㎡ (2030年度)	
9 製造業の生産量当たりエネルギー消費量※	6.48PJ/指数 (2013年度)	5.59PJ/指数 (2016年度)	5.69PJ/指数 (2017年度)	5.46PJ/指数 (2018年度)	5.40PJ/指数 (2019年度)	4.21PJ/指数 (2030年度)	
10 自動車1台当たり燃料消費量※	30.6GJ/台 (2013年度)	26.8 GJ/台 (2016年度)	26.9GJ/台 (2017年度)	26.2GJ/台 (2018年度)	24.6GJ/台 (2019年度)	15.3GJ/台 (2030年度)	
11 貨物自動車の輸送トンキロ当たり燃料消費量	5.63GJ/トノロ (2013年度)	6.32 GJ/トノロ (2016年度)	5.80GJ/トノロ (2017年度)	6.15GJ/トノロ (2018年度)	5.93GJ/トノロ (2019年度)	4.00GJ/トノロ (2030年度)	
日常生活における取組状況（アンケート調査により実施している人の割合）							
12 節電に努める	81.0% (2018年度)	81.3%	83.9%	87.7%	87.5%	94% (2028年度)	
13 冷暖房の設定温度を控えめにする	81.8% (2018年度)	79.8%	84.9%	86.3%	84.1%	90% (2028年度)	
14 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ	68.1% (2018年度)	64.0%	68.4%	69.9%	64.8%	80% (2028年度)	
15 レジ袋(ポリ袋やビニール袋)をもらわない	69.5% (2018年度)	72.1%	90.3%	91.7%	92.8%	80% (2028年度)	
16 車の運転時は、急発進・急加速をしない	68.3% (2018年度)	69.9%	72.8%	72.3%	73.9%	80% (2028年度)	
17 ISO14001またはエコアクション21の認証取得事 業件数	620件 (2017年度)	583件	528件	519件	495件	650件 (2028年度)	

令和5年3月に、千葉県地球温暖化対策実行計画を改定したことから、改定後の目標値を記載しています。
※「都道府県別エネルギー消費統計」（資源エネルギー庁作成）の見直し等を踏まえ、算定方法を一部見直ししており、基準と目標の指標についても、見直し後の方法で改めて算定を行っております。

第3節 温暖化対策に資する都市・地域づくり等の促進

18	森林吸収源対策としての間伐実施面積	573ha/年 (2016年度)	216ha/年	238ha/年	220ha/年	900ha/年 (2021年度)	森林整備事業(補助事業)や県有林事業、その他森林所有者の自主的な取組等を含めた1年間の間伐実施面積 ※2017年策定「千葉県農林水産業振興計画」より 間伐、植栽、下刈り等の1年間の実施面積であり、森林整備事業(補助事業)や県有林事業等によるものを含む ※2022年策定「千葉県農林水産業振興計画」より
19	都市公園箇所数	6,999箇所 (2016年度)	7,243箇所	7,440箇所	7,522箇所	7,609箇所 (2022年度)	
第4節 気候変動への適応							
20	気候変動による影響への適応について知っている人の割合(県政に関する世論調査)	参考 国の調査47.5% (2016年度)	42.0% (2018年度)	41.5%	44.4%	100% (2028年度)	
21	気候変動への適応に関する計画の策定市町村数	0市町村 (2018年度)	2市町村	3市町村	7市町村	増加を指します (2028年度)	

第2章 循環型社会の構築

第1節 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進		基準 (年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	目標 (年度)	備考
22	一般廃棄物の排出量	209万t (2016年度)	206万t (2018年度)	209万t (2019年度)	206万t (2020年度)	203万t (2021年度)	181万t以下 (2028年度)	
23	一人1日当たりの家庭系ごみ排出量	517g (2016年度)	507g (2018年度)	519g (2019年度)	532g (2020年度)	513g (2021年度)	440g以下 (2028年度)	
24	一般廃棄物の再生利用率	22.7% (2016年度)	22.4% (2018年度)	21.3% (2019年度)	22.0% (2020年度)	22.7% (2021年度)	30%以上 (2028年度)	
25	一般廃棄物の最終処分量	15.4万t (2016年度)	14.3万t (2018年度)	14.1万t (2019年度)	14.0万t (2020年度)	12.2万t (2021年度)	12万t以下 (2028年度)	
26	産業廃棄物の排出量	1,970万t (2016年度)	1,752万t (2018年度)	1,864万t (2019年度)	1,816万t (2020年度)	2,072万t (2021年度)	2,072万t以下 (2028年度)	
27	産業廃棄物の再生利用率	51.9% (2016年度)	49.2% (2018年度)	46.7% (2019年度)	45.5% (2020年度)	49.6% (2021年度)	61%以上 (2028年度)	
28	産業廃棄物の最終処分量	27.6万t (2016年度)	29.4万t (2018年度)	25.5万t (2019年度)	28.7万t (2020年度)	34.2万t (2021年度)	29万t以下 (2028年度)	
29	バイオマス資源の利用率	71% (2016年度)	78% (2018年度)	78% (2018年度)	79% (2020年度)	79% (2020年度)	80%以上 (2028年度)	
第2節 廃棄物等の適正処理の推進と不法投棄の防止								
30	新たな不法投棄量(投棄量10t以上の不法投棄箇所における投棄量の総量)	8,731t (2016年度)	64,500t (2018年度)	5,791t (2019年度)	650t (2021年度)	3,707t (2022年度)	新たな不法投棄量ゼロを指します (早期実現)	

第3節 残土の適正管理									
31	無許可埋立面積	8,953㎡ (2017年度)	増加0㎡	増加4,194㎡	増加0㎡	増加10,684㎡	増加0㎡	無くします (早期実現)	
第4節 再生土への対策の推進									
32	無届埋立て件数	0件 (2019年度)	0件	0件	0件	0件	0件	0件 (毎年度)	

第3章 豊かな自然環境の保全と自然との共生

第1節 生物多様性の保全に向けた総合的施策の展開									
項目名		基準 (年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	目標 (年度)	備考	
第2節 自然公園等による優れた自然環境の保全と活用									
33	市町村における生物多様性地域戦略の策定	7市町村 (2017年度)	7市町村	7市町村	7市町村	8市町村	全市町村で策定 (2028年度)		
第2節 自然公園等による優れた自然環境の保全と活用									
34	自然公園面積	10地域 28,537ha (2017年度)	10地域 28,537ha	10地域 28,537ha	10地域 28,537ha	10地域 28,537ha	維持します (2028年度)		
35	自然環境保全地域等の面積	28地域 1,956ha (2017年度)	28地域 1,956ha	28地域 1,956ha	28地域 1,956ha	28地域 1,956ha	維持します (2028年度)		
36	自然公園ビジターセンター等利用者数	59万人 (2017年度)	52万人	57万人	60万人	75万人	維持します (2028年度)		

第3節 地域の特性に応じた環境の保全

37	森林整備面積	974ha/年 (2016年度)	709ha/年	662ha/年	618ha/年	1,600ha/年 (2021年度)	間伐、植栽、下刈り等の1年間の実施面積であり、森林整備事業(補助事業)や県有林事業、その他森林所有者の自主的な取組等によるものを含めた1年間の間伐実施面積 ※2017年策定「千葉県農林水産業振興計画」より
		461ha/年 (2020年度)	445ha/年	685ha/年 (2025年度)	685ha/年 (2025年度)	685ha/年 (2025年度)	間伐、植栽、下刈り等の1年間の実施面積であり、森林整備事業(補助事業)や県有林事業等によるものを含む ※2022年策定「千葉県農林水産業振興計画」より
38	農地面積	126,900ha (2015年)	125,167ha (2018年)	124,570ha (2019年)	123,533ha (2020年)	122,717ha (2021年)	121,500ha以上 (2025年)
再掲	東京湾の環境基準達成率(COD)	45.5% (2017年度) [11水域中5水域で達成]	54.5%	45.5% [11水域中5水域で達成]	54.5% [11水域中6水域で達成]	54.5% [11水域中6水域で達成]	72.7% (2028年度) [11水域中8水域で達成]
再掲	都市公園等箇所数	6,999箇所 (2016年度)	7,243箇所	7,440箇所	7,522箇所	7,609箇所 (2022年度)	7,063箇所 (2025年度)

第4章 野生動物の保護と適正管理

項目名	基準 (年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	目標 (年度)	備考
第1節 希少野生動物の保護・回復							
39 希少野生動物の保護回復計画の策定	3市町村 (2017年度)	3市町村	3市町村	3市町村	3市町村	全市町村で策定 (2028年度)	
40 「生命のにぎわい調査団」の団員からのモニタリング件数	累計95,256件 (2017年度)	累計 106,993件	累計 119,647件	累計 132,039件	累計 140,534件	累計205,300件 (2028年度)	
第2節 特定外来生物の早期防除							
特定外来生物の捕獲数							
41 アカゲザル	89頭	287頭	661頭	302頭	127頭		
42 アライグマ	4,283頭	6,240頭	8,748頭	8,962頭	10,361頭		
43 キョン	3,475頭	5,008頭	5,436頭	8,587頭	8,864頭		
44 カミツキガメ	1,429頭	1,597頭	1,653頭	1,456頭	1,651頭		
第3節 有害鳥獣対策の強化							
有害鳥獣の捕獲数							
45 イノシシ	19,562頭	22,351頭	31,861頭	20,729頭	22,087頭		
46 ニホンジカ	6,248頭 (2017年度)	6,697頭	6,885頭	7,174頭	8,144頭	被害状況を勘案しながら捕獲を進めます (2028年度)	
47 有害鳥獣による農作物被害軽減	372百万円 (2017年度)	407百万円	359百万円	300百万円	270百万円	農作物被害額の減少を指します (2028年度)	

第5章 安全で安心な生活環境の保全

項目名	基準 (年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	目標 (年度)	備考
第1節 良好な大気環境の確保							
48 光化学スモッグ注意報の年間発令日数	11.6日 (2013～2017年度の平均)	10.0日 (2015～2019年度の平均)	8.0日 (2016～2020年度の平均)	8.4日 (2017～2021年度の平均)	6.8日 (2018～2022年度の平均)	注意報発令日数の半減 (2024～2028年度の平均)	
49 浮遊粒子状物質の環境基準達成率 (一般局・自排局の合計)	100% (2017年度)	100%	100%	100%	100%	100% (毎年度)	
50 二酸化硫黄の環境基準達成率 (一般局・自排局の合計)	100% (2017年度)	100%	100%	100%	100%	100% (毎年度)	
51 一酸化炭素の環境基準達成率 (一般局・自排局の合計)	100% (2017年度)	100%	100%	100%	100%	100% (毎年度)	
52 二酸化窒素の環境基準達成率 (一般局・自排局の合計)	100% (2017年度)	100%	100%	100%	100%	100% (毎年度)	

53	二酸化窒素の環境目標値達成率 (一般局・自排局の合計)	89.4% (2017年度)	99.2%	95.7%	98.2%	99.1%	100% (2028年度)	
54	微小粒子状物質の環境基準達成率 (一般局・自排局の合計)	92.3% (2017年度)	98.3%	100%	100%	100%	100% (2028年度)	
55	大気汚染防止法及びびダイオキシン類対策特別措置法に基づく立入検査の実施率	全施設数の39% (2017年度)	31%	29%	32%	37%	33%以上 (毎年度)	
56	揮発性有機化合物の排出量	10,801t (2016年度)	11,245t (2019年度)	11,255t (2019年度)	10,295t (2020年度)	11,396t (2021年度)	前年度より減少させます (毎年度)	
57	エコドライブ実践事業者の割合	91% (2016年度)	90%	96%	89%	89%	100% (2028年度)	
58	低公害車を40%以上導入している事業者の割合	78.8% (2016年度)	100.00%	100%	100%	100%	100% (2028年度)	
第2節 良好な水環境の保全								
59	河川の環境基準達成率(BOD)	77.1% (2017年度) [70水域中54水域で達成]	77.1%	81.4% [70水域中57水域で達成]	82.9% [70水域中58水域で達成]	77.1% [70水域中54水域で達成]	91.4% (2028年度) [70水域中64水域で達成]	
60	印旛沼の水質(COD)	13mg/L (2017年度COD75%値)	14mg/L	12mg/L	13mg/L	15mg/L	5年ごとに算定する湖沼水質保全計画の水質目標値を達成しつつ、環境基準をできるだけ早期に達成します (2030年度)	第8期計画の水質目標値は現況12mg/L (2020年度) に対し12mg/L (2025年度) 環境基準3mg/L以下:75%値
61	手賀沼の水質(COD)	9.7mg/L (2017年度COD75%値)	10mg/L	11mg/L	10mg/L	11mg/L	5年ごとに算定する湖沼水質保全計画の水質目標値を達成しつつ、環境基準をできるだけ早期に達成します (2030年度)	第8期計画の水質目標値は現況11mg/L (2020年度) に対し9.0mg/L (2025年度) 環境基準5mg/L以下:75%値
62	東京湾の環境基準達成率(COD)	45.5% (2017年度) [11水域中5水域で達成]	54.5%	45.5% [11水域中5水域で達成]	54.5% [11水域中6水域で達成]	54.5% [11水域中6水域で達成]	72.7% (2028年度) [11水域中8水域で達成]	
63	県全域の汚水処理人口普及率	88.0% (2017年度)	89.1%	89.5%	90.1%	90.6%	93.3% (2024年度)	
64	地下水の環境基準達成率 [参考]全国値	85.9% (2017年度) 93.9% (2016年度)	84.9% 94.4% (2018年度)	80.6% 94.0% (2019年度)	84.2% 94.1% (2020年度)	86.9% 94.9% (2021年度)	全国値並みの達成率を確保します (2028年度)	
第3節 良好な土壌環境・地盤環境の保全								
65	2cm以上の地盤沈下面積	10.2km ² (2016年度)	18.2km ²	38.6km ²	0km ²	15.2km ²	0km ² (毎年度)	

第4節 騒音・振動・悪臭の防止									
66	自動車騒音の環境基準達成率	91.3% (2016年度)	92.3%	92.9%	93.5%	94.0%	達成率を向上させます (毎年度)		
67	航空機騒音の環境基準達成率 成田空港周辺	58% (2016年度)	64%	81%	78%	76%	向上させます (毎年度)		
68	羽田空港周辺	100% (2016年度)	100%	100%	100%	100%	100% (毎年度)		
69	下総飛行場周辺	91% (2016年度)	92%	92%	100%	100%	100% (2028年度)		
70	木更津飛行場周辺	100% (2016年度)	100%	100%	100%	100%	100% (毎年度)		
71	騒音・振動・悪臭の苦情件数	1,746件 (2016年度)	1,560件	2,276件	2,117件	2,363件	減少させます (毎年度)		
第5節 化学物質・放射性物質への対策									
72	ベンゼン、トリクロロエチレン等の環境基準達成率	計4物質100% (2017年度)	100%	100%	100%	100%	100% (毎年度)		
73	アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー等の指針値達成率	計9物質100% (2017年度)	100%	100%	100%	100%	100% (毎年度)		
74	ダイオキシン類の環境基準達成率 一般大気環境	100%	100%	100%	100%	100%	100%		
75	公共用水域水質	93.7%	95.9%	98.6%	97.3%	97.3%	100% (毎年度)		
76	公共用水域底質	100%	100%	100%	100%	100%			
77	地下水	100%	100%	100%	100%	100%			
78	土壌	100% (2017年度)	100%	100%	100%	100%			
79	有害化学物質の排出量(PRTR制度による届出排出量)	5,587t (2016年度)	5,386t (2018年度)	5,052t (2019年度)	4,515t (2020年度)	4,382t (2021年度)	前年度より減少させます (毎年度)		

第6章 環境保全のための基盤的、横断的な施策の推進

項目名	基準 (年度)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	目標 (年度)	備考
第1節 環境学習の推進と環境保全活動の促進							
80 県が主催・共催する環境学習に関する行事の参加者数	24,590人 (2017年度)	35,072人	81,864人	126,515人	104,809人	25,000人 (毎年度)	
81 日常生活活動の中で、環境に配慮して行動を心掛けていている人の割合	79.7% (2018年度)	78.4%	82.8%	81.9%	80.6%	90% (2028年度)	

第2節 環境保全の基盤となる施策の推進									
82	ちば環境再生基金による助成事業の実施件数	64件 (2017年度)	67件	138件 (2019年度～ 2020年度)	216件 (2019年度～ 2021年度)	313件 (2019年度～ 2022年度)	累計700件 (2019～2028年度)		
第3節 環境と経済の好循環の創出									
83	最終エネルギー消費量当たり県内総生産	20.9百万円/TJ (2015年度)	20.1百万円/TJ (2017年度)	20.6百万円/TJ (2018年度)	22.5百万円/TJ (2020年度)	22.9百万円/TJ (2020年度)	増加させます (2028年度)		
再掲	バイオマス資源の利用率	71% (2016年度)	78% (2018年度)	78% (2018年度)	79% (2020年度)	79% (2020年度)	80%以上 (2028年度)		
再掲	再生可能エネルギー導入量	10,864TJ (2017年度)	13,507TJ	15,737TJ	16,448TJ	17,597TJ	21,500TJ (2028年度)		
再掲	発電設備導入量	2,267MW	2,859MW	3,135MW	3,288MW	3,511MW	4,000MW		
再掲	事務所・店舗等の延床面積1㎡当たりエネルギー消費量	1.42GJ/㎡ (2013年度)	1.24GJ/㎡ (2016年度)	1.24GJ/㎡ (2017年度)	1.29GJ/㎡ (2018年度)	1.19GJ/㎡ (2019年度)	0.50GJ/㎡ (2030年度)	「都道府県別エネルギー消費統計」(資源エネルギー庁作成)の見直し等を踏まえ、算定方法を一部見直ししており、基準と目標の指標についても、見直し後の方法で改めて算定を行っております。	
再掲	製造業の生産量当たりエネルギー消費量	6.48PJ/指数 (2013年度)	5.59PJ/指数 (2016年度)	5.69PJ/指数 (2017年度)	5.46PJ/指数 (2018年度)	5.40PJ/指数 (2019年度)	4.21PJ/指数 (2030年度)		
第4節 災害時等における環境問題への対応									
84	災害廃棄物処理計画の策定市町村数	3市町村 (2017年度)	24市町村	39市町村	47市町村	51市町村	全市町村 (2020年度)		